

1 研究開発学校（横浜市立東汲沢小学校）の取組

日課の変更

令和7年度 横浜市立東汲沢小学校 日課表

	時程	月	火	水	木	金	短縮時程 4時間授業
登校	8:15~8:20 △ 8:20~8:30	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会	8:15~8:20 △ 8:20~8:30
1校時	8:30~9:10	40分間	40分間	40分間	40分間	40分間	8:30~9:10
準備	9:10~9:15						9:10~9:15
2校時	9:15~9:55	40分間	40分間	40分間	40分間	40分間	9:15~9:55
準備	9:55~10:00						9:55~10:00
3校時	10:00~10:40	40分間	40分間	40分間	40分間	40分間	10:00~10:40
中休み	10:40~11:00 (△ 10:55)						10:40~11:00 (△ 10:55)
4校時	11:00~11:40	40分間	40分間	40分間	40分間	40分間	11:00~11:40
準備	11:40~11:45						
5校時	11:45~12:25	40分間	40分間	40分間	40分間	40分間	ひぐみタイム 11:40~12:00 帰りの会
給食	12:25~13:10	45分間	45分間	45分間	45分間	45分間	完全下校 12:15 (給食なし)
昼休み	13:10 △~13:30 △ 13:10~13:45 ロング昼休み 35分間	20分間	20分間	5校時完全下校 13:30	20分間	20分間	給食 12:00~12:45 完全下校 13:10 (給食あり) (清掃なし)
清掃	13:30~13:45 (△ 13:30)	15分間	15分間	15分間	15分間	15分間	
ひぐみ タイム	13:45~14:05	20分間	20分間	委員会活動 5・6年 13:30~14:10	20分間	20分間	
5校時下校	帰りの会 5校時完全下校 14:20	帰りの会 5校時完全下校 14:20	帰りの会 5校時完全下校 14:20	帰りの会 5校時完全下校 14:20	帰りの会 5校時完全下校 14:20	帰りの会 5校時完全下校 14:20	
6校時	14:05~14:45	40分間	40分間	クラブ活動 4・5・6年 13:30~14:20	40分間	40分間	
6校時下校	帰りの会 6校時完全下校 15:00	帰りの会 6校時完全下校 15:00	委員会活動 14:25 クラブ活動 14:35	帰りの会 6校時完全下校 15:00	帰りの会 6校時完全下校 15:00	帰りの会 6校時完全下校 15:00	△がついている 時刻にはチャイム が鳴ります。

○ 1コマ40分午前5時間に変更

▶ ○ ひぐみタイム（20分間）の有効活用

→ 1週間の帯どり20分×4日=80分
6校時がある日20分+40分=60分

子どもが自分の
ペースで探究

▶ ○ 放課後の時間を毎日1時間確保

→ 教職員の対話の時間、裁量のある時間による授業改善の活性化

1コマ40分午前5時間制の導入

日課を変更することによって
時間を生み出す

生み出された時間は…

ひぐみタイム

○自分で学ぶ方法や場所、時間を選択するなど計画をたて実行する。
○自己調整力を育む。
○教育課程全体で育成を目指す資質・能力を育くむ時間。
○目指す子どもの姿にせまる時間。

資質・能力の育成

放課後の
時間の確保

○次の日の準備や教材研究の時間を充実させる。

○子どもに関する情報交換や授業づくりにおける校内研究を充実させる。

授業改善の充実 +
教職員の働き方改革

学校教育目標の実現に向けて

ひぐみっ子の資質・能力を育成するためにも
「質の高い学び」「持続可能な学校」の
同時実現を目指します！

2 ひぐみタイムの現在①

実践1

学び方を学ぶ & 安心した学級づくり

5年生：対話の時間



- ・テーマは子どもたちから募集
- ・教師は板書と基本的には問いかけのみ

・自由な対話の時間だからこそ、子どもたちとじっくり「こういう学び方っていいよね」と確かめ合うことができる



実践2

教育課程全体で育成を目指す
資質・能力にせまる活動

6年生：書くワークショップ

- ・「言語能力」に関連する表現力の育成
- ・お互いに発表し合い安心できる環境に



実践3

学校教育目標や目指す子どもの姿にせまる活動

3・4年生：出会いの会



- ・6校時と合わせて60分授業で展開
- ・4年生が主体となって企画・運営
- ・つながりを意識した活動
- ・ペア学年として今後の活動がスムーズに

2 ひぐみタイムの現在②

実践4

探究の時間の充実

6年生：総合的な学習の時間



- ・総合的な学習の時間で一年間の材を検討している時間
- ・6校時と合わせて、60分間の探究の時間を充実
- ・子どもたちの実際の体験を大事にするチャレンジ

実践5

学び方を学ぶ・基礎基本の定着

2年生：AIドリルの実践

- ・国語・算数の学習を自己選択
- ・新たに導入したAIドリルを経験

実践6

個人・集団を意識した学び

個別支援学級：実態に応じた活動

- ・係活動の計画立案・役割分担、実践へ
- ・日記を通して担任とコミュニケーション
- ・一日の振り返り
- ・金曜日は教室の整頓

実践7

学び方を学ぶ・基礎基本の定着



1年生：タブレットをさわろう

- ・タブレット端末の使い方に慣れる
- ・個別支援学級の児童も交流級の中で積極的に参加できる
- ・自分で国語の学習か算数の学習を選択し、基礎的な国語・算数の学習内容の定着を図る